

# クリントン サイプス (元キリスト教徒 アメリカ合 国) (パ ト1/2)

:

明:憎しみ、犯罪、暴力の人生が平 と信仰のそれに わる。パ ト 1:少年期

目:[事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: クリントン サイプス

日 05 Dec 2009

集日 05 Dec 2009

## 始まり:クリントン サイプスの少年期の

私は父からの肉体的、精神的虐待を受け、アルコール依存の 境にある崩 した家庭に育ちました。よい父 像のないままに、私は反社会的性格と暴力的性向を めていきました。

私は自分にされたことを真似し始めましたが、この模 行 は知らず知らずの内に始まっていきました。それは兄やクラスメ ト、先生や 物との にも影 を及ぼしました。何も私の抑 された怒りや りの残酷なほとばしりを取り除くことは出来ませんでした。13 の 、私は自分と似たような境遇の子供たちと仲 になりました。しかし彼らは私ほど追いめられてはいなかったので、すぐに きてしまいました。私はアルコール、麻 、犯罪、暴力、人 差 といったことにためらいなく参加する私の意欲を 迎する、ヤングアダルト と行を共にするようになりました。 正施 (少年刑 所)にも入りましたが、その 境もまた私の犯罪的 向を 的技 にまで精 してくれました。暴力と人 差 は非常に いもの…となり、 の 境が人、ユダヤ人、 洋人、 威への りと嫌 を煽りました。この 正期 の3年 。私は 放されました。私はあたかも く手榴 のようになっていました。

この怒りを解き放つための焦点を探し求め、私はヤングアダルトの 事的人 差 グル プの 会 となりました。私は人々への常 的暴行に参加するなど、 々な犯罪行 に携わりました

。そして16の、私は盗、暴行、刀法の罪でカリフォルニア少年施設に投入れられ、6年6か月の役に服役しました。しかしそこですぐに“白人至上主義”の集りに同じ、自分の怒り取りを“アングロサクソン人”ではない全ての人々へ向けた真の“憎しみ”として培ったのです。

私はKKKと通じるようになり、放火には憎しみを注ぎする筋金入りの商人に成り果てていました。その3、4年の私の行は、クランの火炎十字架活劇にメディアへの露出、夜の殴打、所有物の侵害などに深く関与するものでした。そして私の放火は、不法所持と盗の疑いによって再び破られました。

## 平安への探求:青年期

20歳のこの最初の放火の取り消しが、平安への探求の始まりでした。何年もの私の内にあったひどい嫌悪が、私を内面から侵食し始めていました。私は嫌悪感から、刑官を酷くりました。私の独房には怒りと憎しみにちた本や落書き、などで覆われており、また私の上半身は房タトゥで覆われていました。私は外に向かって爆していたのではなく、内面的に爆していたのです!。怒り取りで朦朧としている中、私は自分がマットレスさえない孤独な裸でいることに付きました。私の手元にあったのは泡スチロールのコップだけでした。私は自分をこの最低の状態にまでめった自分の去りの要素を振り返り始めました。

私が中に娘が生まれました。私は自分の将来を描き始めました。私は自分が被害を与えた山の被害者の人生を考えるようになりました。私はもしこの去りの自分のままでいたら、一生刑務所暮らしであることが予見できました。私は自分に言いかせました：“クリント、おまえはこのか、あるいは未来の善かをしなければならない”。この未来がないことは明らかでした。私の家族-母、ガールフレンド、兄弟-は私を恐れていました。私は彼らから離れていました。そして私は自分の中の嫌という癌を取り除く洗剤を探し始めました。私は本当の意味で洗われ、そしてしたかったです。私はただもう“憎み”たくはなかったのです。

私はモンタナ州に移り、そこでまた住居侵入と窃盗の罪で逮捕されました。私は刑を宣告され、5年の判 で2年6か月服役し、その の 放期 は 事に全うしました。私は人 体と わるようになり、自分自身で人 体C.H.E.R.E. (Children Escaping Racist Environments: 人 差 的 境からの子供たちの避 )を始めました。私の目 はかつて自分が打ちのめされてしまったような 境的状 から逃れる手助けを子供たちに差し伸べることでした。私はかつて自分自身が となっていた 所にお返しがしたかったのですが、まだ犯罪と わっていました。私は爆 物所持にかかわり、 邦政府に逮捕され、35か月を 邦刑 所で服役しました。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/85>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。